



国際ロータリー第2590地区

次世代につなごう！

ガバナー 長戸はるみ

例会: 毎週月曜日 12:30

例会場: 川崎日航ホテル TEL: 044-244-5941

事務所: 210-0004 川崎市川崎区宮本町7-1 三陽会館ビル5階

TEL: 044-233-3005 FAX: 044-233-8460



副会長
木村教義

会長
石田幸兒

幹事
廣瀬千尋

2024-2025年度 国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック

HP: <http://www.kawasaki-chuo-rc.com/>
E-mail: info@kawasaki-chuo-rc.com

第1733回 令和7年4月14日 VOL.40 No.30

川崎中央ロータリークラブ

WEEKLY

- 司会……瀧上アリ佐SAA
- 点鐘……石田会長
- ロータリーソング 高後ロータリーソング委員長
「我等の生業」
- 本日のメニュー 洋食

入会式



渥美朱美様

石田会長



吉田克久様

出席報告

原出席委員長

	会員数	出席 該当者	出席者	欠席者	ホーム クラブ	メイク	前々回 修正
1730回	45	44	34	10	77.27	/	/
1728回	44	43	31	13	70.45	2	76.74

4月の誕生日

伊藤弘志 R財団委員長

和田親睦活動委員長



島田喜彦会員 (18日) 内田博之会員 (19日)
牧島 聰会員 (23日)

会員の皆様、寄付をよろしくお願ひいたします。

スマイルレポート

木村副会長

石田会員……皆様 4月7日式典お疲れ様でした！
ご協力ありがとうございました。
感謝申し上げます。
本日、本多エレクトPETS報告よろしくお願いいたします。

廣瀬会員……先週は40周年記念式典、本当にお疲れ様でした。吉田さん、渥美さんご入会おめでとうございます！これからよろしくお願いします。

川島会員……創立40周年行事盛会裡に終わりました。
おめでとうございました。
青木実行委員長はじめ実行委員会の皆様大変にご苦労様でした。

関 会員……①先週の40周年記念式典最高でした。大谷康子様も大喜びで皆様によろしくのことです。

②本多さん、来示はお願いします。

松本会員……①創立40周年記念式典・祝宴・青木実行委員長始め、副実行委員長の皆様、そして会員の皆様、大変お世話になりました。
②本多さんお次年度か活躍にエールを送ります。

青木会員……四十周年記念式典は皆様のご協力のお蔭で無事成功裡に終わりました。
誠にありがとうございました。
おめでとうございました。

伊藤(康)会員…①皆様、40周年は大変お疲れ様でした。
大盛況でしたね。

②吉田さん、渥美さんご入会おめでとうございます。

③本多さん、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

石川会員……①40周年事業、皆様大変お疲れ様でした。
また、50年目指しましょう。

②渥美さん、吉田さん入会おめでとうございます。長いお付き合いよろしくお願ひ致します。

佐野会員……先日の40周年式典素晴らしかったですね。青木実行委員長・実行委員の皆様お疲れ様でした。

渡辺会員……①先般の40周年記念行事では、皆様大変お疲れ様でした。

②本多さん、本日はPETS報告宜しくお願ひします。

会長報告

石田会長

1. 2027-2028年度 ガバナーノミニー・
デジグネート告知・確定宣言が届きました、
谷川公一(たにがわこういち)氏 になりました。

幹事報告

廣瀬幹事

- ◎ 例会変更のお知らせ
ありません。
- ◎ 週報を送ってくださったRC
ありません。
- ◎ 本日の配布物
会報 3/31. 4/7
ガバナー月信

委員会報告

青木創立40周年記念事業実行委員長



無事に創立40周年記念式典が開催されて。成功裡に終了しました。皆様のおかげです。
ありがとうございました。

卓話

P E T S 報告

本多会長エレクト



上原会員……皆様こんにちは♡ 先週の40周年記念式典、青木実行委員長・副実行委員長の皆様、三役の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。
本多会長エレクト PETS 報告よろしくお願い致します。

阿野会員……皆さん、こんにちは！
40周年記念式典、素晴らしいですね！今後ともよろしくお願ひいたします。
牧島会員……40周年すばらしかったですね！
おつけもの慶さん、大好物です！
山口会員……40周年パーティーお疲れ様でした。
本多会員……先週の40種年記念式典では、皆様お疲れ様でした。当日は、皆様の士気が上がつていい周年行事で終えられた実感がありました。今日は吉田さんに続いて渥美さんご入会おめでとうございます。
今日は遅くなりましたが PETS 報告よろしくお願ひします。

柳町会員……青木実行委員長、各副実行委員長を始め40周年にご尽力頂いた皆様お疲れ様でした！とても良い会でしたね！
本多エレクト、本日も卓話勉強させていただきます。

林(敏)会員…お疲れ様です。土曜日に議会対抗のサッカーをやって下半身が悲鳴をあげています。今日はよろしくお願ひします。

坪井会員……先日の記念式典お疲れ様でした。
渥美さん、川崎中央ロータリーへようこそ。

林(信)会員…40周年式典良かったですね。青木さん、実行委員、会員の皆様、お疲れ様でした。
次は50周年ですね。

原 会員……渥美さん、吉田さんご入会おめでとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

吉田会員……先日は入会式ありがとうございました。
今後ともよろしくお願ひします。

木村会員……①40周年良かったですね。
②吉田さん、渥美さん、ご入会おめでとうございます。よろしくお願ひ致します。
③昨日は緑化フェア閉会式に出席致しました。落ち着いた雰囲気で良かったです。

1730回	22件	29,000円	累計	467件	636,000円
-------	-----	---------	----	------	----------

3/18にソシア21で開催された、「会長エレクト研修 PETS」の報告をいたします。

今年は変更点として

次年度のRI会長ですが、ブラジル サンパウロにある サンアンドレロータリークラブ所属の マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長 (通称マリオ会長)

会長メッセージが 「Unite for Good よいことのために手を取り合おう」になります。

まず、次年度から RI会長のスローガンが「テーマ」から「メッセージ」という名称に変わり、この RI会長メッセージを、国際ロータリー全体で使用することになりました。

これは、一貫性のある統一されたメッセージをし、世界中の地区やロータリークラブ、インタークト、ローターアクトなどで、「一緒に活動することを呼び掛ける」ことや、

このひとつのメッセージを活用することで、世界全体の 会員、参加者、一般の人々、奉仕パートナー、入会者などの外部者に向けて、ロータリーの知名度向上や、ロータリーがどんな団体で、どのような活動をしているのか についての理解や入会の関心を高めることが狙いです。

第2590地区でもこの RIの要請を遵守する方針となり、「地区方針」を今年は「地区行動計画」に変更されたことから、クラブも次年度は、会長スローガンとは発信せずにクラブ RI会長メッセージを使用していくますが、

期首資料等での活動計画や目標は、RIメッセージと地区行動計画を踏まえた内容からクラブの活動に合わせて、近日、理事役員、各委員長に委員会計画を作成頂けるように発信をしたいと思っていますのでお願いします。

(RI の要請内容については4枚目資料「私たちのメッセージ
「地区とクラブのテーマまたはメッセージ」」ご参照)

§マリオ RI 会長メッセージ 「Unite for Good よいことのために手を取り合おう」について

このメッセージが、全世界のロータリーで使用するいわば、スローガンになります。

ちなみにテーマとメッセージの違いは RI の解釈ですが、「テーマ」 毎年 RI 会長が単独で考えた言葉やスローガン、「メッセージ」 今後 3 カ年継続する内容や单年度だけではない継続的な方向性内容で、R I 全体で作成したテーマやローガンとなります。

今後会長が変わるとメッセージが同じかどうかについて → ベースは変わらないが、表現は変わるものではないか。という回答。来年は来年で、今まで通りにメッセージは変わる予定

マリオ会長のメッセージの最重要目標は「会員増強とクラブの活性化」になります。

その理由や意図についてですが

- ① **ロータリーの最大の財産は会員である** → 会員増強が何をおいても重要である
- ② その最も価値ある財産である会員を増やすために下記の 3 つの要素が不可欠
 - 1) **イノベーション (革新)** 世の中の変化に合わせてロータリーも進化しなければならない
 - 2) **コミュニティ (継続性)** 戦略やプログラムが毎年継続される一貫したリーダーシップが重要と

長期的な成功のた

めの土台作りが可能

- 3) **パートナーシップ(パートナーシップ)** ポリオ根絶のように会員増強も他団体と組織と力を合わせることで成果を成し遂げることから、そういう場所で活躍している質の高い会員候補を引き付けることが可能

この 3 つこの 3 点による会員増強はロータリーを活性化させる → 活性化したロータリーは多様性ある人々を結び付ける → 「世界でよいことをする」という共通の目的で私たち会員全体を団結させる (unite)

→ その団結が、世界や地域社会で持続可能な良い変化を世界に生み出す・・・と説明しています。

* 3 カ年目標 3-Years Rolling Goals について

今年度からすでに **3 カ年目標 3-Years Rolling Goals** が設置されております。

国際ロータリーの HP に「クラブセントラル」という箇所があり、各クラブの目標数値の入力をするようにされており、次年度は 2 年目となります。

入力項目の主な内容は 会員の数 (男女比率) 入会数 退会数、新クラブの設立の有無 (衛星クラブなど) クラブ奉仕活動の回数や参加人数、財団やポリオ寄付、戦略計画の有無 改定、など

5 月より入力フォーマットが新しくなり、各クラブで決めた 3 年間の増強や奉仕活動などの数値目標を改めて 5/31 までに入力する予定。今後は毎年各クラブで、① 7 月の期首と ② 每月 3 日までに実績値や月間の進捗を細かく入力、③ 隔月ぐらいの間隔で、地区ガバナーと各クラブ会長間で、各クラブの状況 課題検討 情報共有を目的とした数値の進捗状況や目標達成度の確認、目標達成に向けた「オンラインミーティング」の開催について次年度より予定されています。

今後は、計画性や継続性について、各クラブに数値での把握が求められていく流れに変わっていくようです。

§ ロゴの使用について

正しいロゴを正しく使用する ことを地区公共イメージ委員長より今までより厳守を求める話しがありました。

今まででは会長テーマに合わせて、各年度テーマロゴも同時に発信されましたが、それも無くなり

次年度は、資料にあるような「会長メッセージの画像」 (資料ご参照) をそのままを使用することや、ルールに則って使用して頂くことになります。

昨年の期首資料についてもルールに則ってロゴを正しく使用しているのは 2590 地区では 57 クラブの中で 1 クラブしか無いという話もありました。

期首資料や HP などクラブが発信や制作する広報物にロータリーロゴを使用する際は、

下記の 5 点の使用ルールを守り、**正しいロゴを正しく使用する** ようにとの話でしたので、クラブでは事務局や公共イメージ委員会などの方が直接該当されると思いますが、ご使用する際はルールを確認してご使用ください。

こちらは「国際ロータリーのホームページ内の My Rotary → ブランドリソースセンター という箇所で調べて作ることができます。

使用ルールについては、

- ① My Rotary のロゴのページ (国際ロータリー HP のブランドリソースセンター) で作成したものを使用し、一切加工しない
- ② クラブ名または地区番号を必ず入れる (ロータリーの役職名刺は除く)
- ③ ロゴの周囲には、決まったスペースを空ける
- ④ ロゴを縁取りしない、地紋として使用しない
- ⑤ カラー印刷時 (カラーの地) に単色ロゴは使わない

クラブ名/地区番号/ゾーン番号入りの組み合わせロゴを作りましょう。



§第2590地区の地区行動計画について

次年度地区ガバナーは、川崎北ロータリークラブの大塚正一ガバナーになります。次年度ガバナー補佐は、川崎ロータリークラブの酒井一宏ガバナー補佐になります。

RI要請を受けて、地区は、「地区方針」から「地区行動計画」に名称を変更され、

「ロータリーの基本に根差した「ロータリーのビジョン声明」の追求」と題して地区行動計画を発信しています

第2590地区もRI会長メッセージを受けて、「会員増強とクラブの活性化」を重視した行動計画になっています。

① ロータリーの存在意義とロータリーの提供する機会の再認識

ロータリーの存在意義についてクラブや自身で考えて、ロータリーの根本を理解をすることが会員増強のスタートだとされ、自主性を求めていきます。

各クラブ内でも、ラーニング委員会（当クラブ：R情報研修委員会）を中心に会長幹事を含めての勉強会、会員向け研修会などの開催をするように地区から要請をされていいます。

② My Rotary の登録（地区：100%目標）

数年前にクラブ内で呼びかけて頂いて、一度皆様に集中的に登録をして頂きました。（現在44名中23名52%の登録状況）事務局で登録を手伝うことができないので、各会員の皆様がご自身で登録して頂く方法しか無いため、今後は、クラブ内でも新会員の方は入会時に登録のご案内をしたり、未登録の方は一定期間を設けて登録をお願いするなどの方法で時期を見て登録推進を進めていかれたらとは考えております。

登録することによるメリットは、自身やクラブ、地区の情報 寄付 補助金計画等の閲覧、

ロータリーロゴの作成 や研修や勉強の資料、のダウンロード可能で、活動視野を広げて頂く意味で登録をお薦めしたいと考えております。

③ ロータリーの行動計画を指針とした3ヵ年目標（3-Years Rolling Goals）

1) クラブ内で計画的に決めた目標を数値で入力していくことと、2) ガバナーとクラブ会長間のオンラインミーティングにより地区とクラブ間での連携やサポートが始まり、クラブにも計画性と継続性を持った目標や行動をしていく流れになっていくこと、3) クラブで継続的な毎月の入力と、決められた時期（年度開始前、中間、年度終了前）の見直しを行っていくことが要請されています。

④ ⑤⑥について（地区、RI、青少年関係イベント）

RI開催や地区開催のイベント、学習会、青少年関係イベント支援等、地区から各クラブ会員に参加依頼を推進する内容になっています。

○地区主催について *RLI ロータリーリーダーシップ研究会（zoomと対面式での実施 部分受講、複数年度受講可能） *9月 地区主催世界ポリオデー、*11/8(土) 地区大会 *3月フレッシュ交流会、*地区主催のロータリー研究会（日程未定）

○RI主催について *11/19、20 ロータリー研究会、(IMと同等) *6月年度末 国際大会（台北）

*クラブ会員も自由に参加できる国際ロータリーの機会のひとつとなる

○青少年関係イベントの支援 *2月 RYLA、*インタークトやロータークトの例会や年次大会、青少年交換プログラムのイベントは、まだ認知度が低く、参加が少ないため、米山奨学生や交換留学生同様に若者育成への応援として、各クラブからも参加してほしいという話しがありました。

⑦ ロータリー国際交流プログラム支援

米山や財団奨学生の地区該当委員長より、本来の趣旨や支援内容、寄付金の使われ方を正しく理解して頂き、次年度もクラブ会員の皆様のご寄付をお願いしますというお願いがありました。

例年クラブでお願いしている寄付金については次年度も従来通りで変わりありません。

① 米山記念奨学事業 普通寄付一人 5000円 特別寄付 20000円

② ロータリー財団寄付目標は 一人 150ドル以上

③ ポリオプラス基金 一人 30ドル以上

変更点→地区人頭分担金から拠出されている「ロータリー平和フェローシップ」は15円から30円に変更

⑧ 地区同好会について

現在9同好会あり、(ゴルフ、トレッキング クレー射撃、草野球、テニス バイク クラシックカー 車のマニア 美術など) クラブの垣根を越えた同好会が存在します。会員が新規に同好会を作ることも可能。

地区HPから簡単に閲覧が可能ですのでHPを見てほしいとの事でした。

地区からは、他クラブの方との趣味を通じた親睦活動や交流や、人脈や仲間を増やすことができる、ロータリー活動の機会として④⑤⑥⑦⑧など、進んで活用してほしいという話しでした。

⑨ Parley Box (目安箱)について

樋口ガバナ一年度に一度新設され、次年度に復活させる予。多様ななご意見、相談、困りごと、会員皆様からの忌憚のない意見をぜひ頂きたいとの事でした。設置についての詳細がわかりましたら、改めてご案内します。

§ 他の変更点について

* 「ガバナー一月信」の印刷廃止 → クラブ事務局へPDFで配信に変更。クラブで印刷配布するか、PDF配布は各クラブでの任意で構わないそうです。

* 「ロータリーの友」は従来通りの→ 地区ホームページからも過去の冊子も含めて閲覧できるので活用してほしい。各クラブに「ロータリーの友推進係」の設置や、該当委員長をクラブの卓話に呼んで説明させて頂きたい。

§ 国際共同委員会設立の件について (別紙配布の資料ご参照)

次年度のガバナーカーで、日本・ウクライナ間での国際共同委員会 (ICC) の設立を目指しており、

日本のロータリーも第2590地区もできれば加盟したいと考えています。(設立に関する箇所: ピンクマーカー)

↓

国際共同委員会の設立には、関係に参加するすべての地区の合意が必要であり、

地区の加盟にあたっては、地区内2/3の承認が必要になります。

今回 4月末までに各クラブ会長エレクトが現在 地区研修協議会オンライン分科会の動画視聴後に加盟を承認するかどうかのクラブ回答を求められています。

↓

設立内容や趣旨について

- ・国際共同委員会とは、人的交流と相互支援に合意した2国間で締結・設立、
- ・異文化間の協力と 友情を通した世界平和、国際理解 国際親善をはぐくむこと。
- ・設立趣意は、日本全体のロータリアンが 国際共同委員会という形で、ウクライナの復興支援の精神的支えになっていくこと。
- ・日本全体の地区が一緒に行動を起こすことに、国際共同委員会設立の意味がある
- ・活動参加は地区のみになるため、直接各クラブの活動や寄付なども無い話。

⑤先日、この件について今年度理事会にてご相談しました。

実際にはまだ戦争が終結していないこと、戦争だけでなく政治の問題も挟み、短期間で簡単にクラブ承認の結論を出すのは難しい。とのご意見が大半で、承認には至りませんでした。

おそらく会員の皆様に図っても同様のご意見となり、短期間に結論を出すのは難しいという判断から、

今回のクラブ回答としては、一旦、加盟承認はせずに「棄権」として返答することにいたします。

但し、当クラブが棄権しても、地区内で2/3以上の承認が得られて、2590地区が加盟する方向になる場合や、日本全国の地区が承認した場合には、国際共同委員会は設立されることになるため、

皆様にはこの事案を正しく知って頂く意味で、あえてお一人づつに資料を配布させて頂きました。

改めて承認回答をクラブに求められる場合には、再度協議したいと思います。

内容をご理解の上、クラブ回答は「棄権」で回答を出しますことをご了解下さいようにお願いいたします。

最後に、PETS や地区研修協議会にて聞いた地区等の予定をお知らせしますので、ご確認下さい。

ご清聴頂きまして、ありがとうございました。

会報委員 柳町大介 阿野順一

島田喜彦 上原尚子 渡部典行

伊藤弘志 林 信宏

事務局 伊藤 清恵

川崎中央ロータリークラブ Weekly

Vol. 40 No 30

編集・作成 川崎中央RC事務局

発行日 令和7年4月14日